

令和6年度 静岡市公共事業評価委員会

**【事後評価】社会資本整備総合交付金  
静岡市の暮らしを支える道づくり(第2期)  
(防災・安全)**

建設局道路部道路保全課

令和6年12月4日(水)

# 目次

- ・静岡市の暮らしを支える道づくりの概要
- ・評価内容① 要素事業の進捗状況
- ・評価内容② 事業効果の発現状況
- ・評価内容③ 評価指標の目標値の実現状況
- ・評価内容④ 今後の方針

## 静岡市の暮らしを支える道づくりの概要

# 静岡市の暮らしを支える道づくりの概要

|             |                                                                                                 |
|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 計 画 の 名 称   | 静岡市の暮らしを支える道づくり（第2期）（防災・安全）                                                                     |
| 計 画 の 期 間   | 平成31年度 ～ 令和4年度（4年間）                                                                             |
| 計 画 の 目 的   | （上位計画）静岡市総合計画（市全体計画）<br>⇒ 静岡市のみちづくり（道路事業）                                                       |
| 計 画 の 目 標   | バリアフリー化等の交通安全対策や道路防災点検等に基づく法面の防災減災対策を実施するとともに、舗装や道路附属物施設の計画的な点検・補修に取り組むことにより安全・安心な交通環境の整備を推進する。 |
| 事 業 区 分     | 道路事業                                                                                            |
| 事 業 内 容     | 交安・修繕事業（バリアフリー、舗装修繕等）                                                                           |
| 全 体 事 業 費   | 9,818百万円                                                                                        |
| 基 幹 事 業     | 33事業                                                                                            |
| 関 連 事 業     | 0事業                                                                                             |
| 効 果 促 進 事 業 | 0事業                                                                                             |

# 静岡市の暮らしを支える道づくりの概要

## 第3次静岡市総合計画

## ⑦ 社会基盤分野

1. 地域連携や交流の拡大に貢献する道路の整備と活用を推進します
2. 道路利用者の安全性・快適性の向上のため道路環境の改善を推進します
3. ライフラインである上下水道を維持するために効率的な事業運営を推進します
4. 持続可能な運営を図るため、維持管理・更新を計画的に推進します
5. 自然災害に耐えうる社会基盤の強靱化を推進します

[illegible]

# 静岡市の暮らしを支える道づくりの概要

## 第2次静岡市のみちづくり

### 基本方針

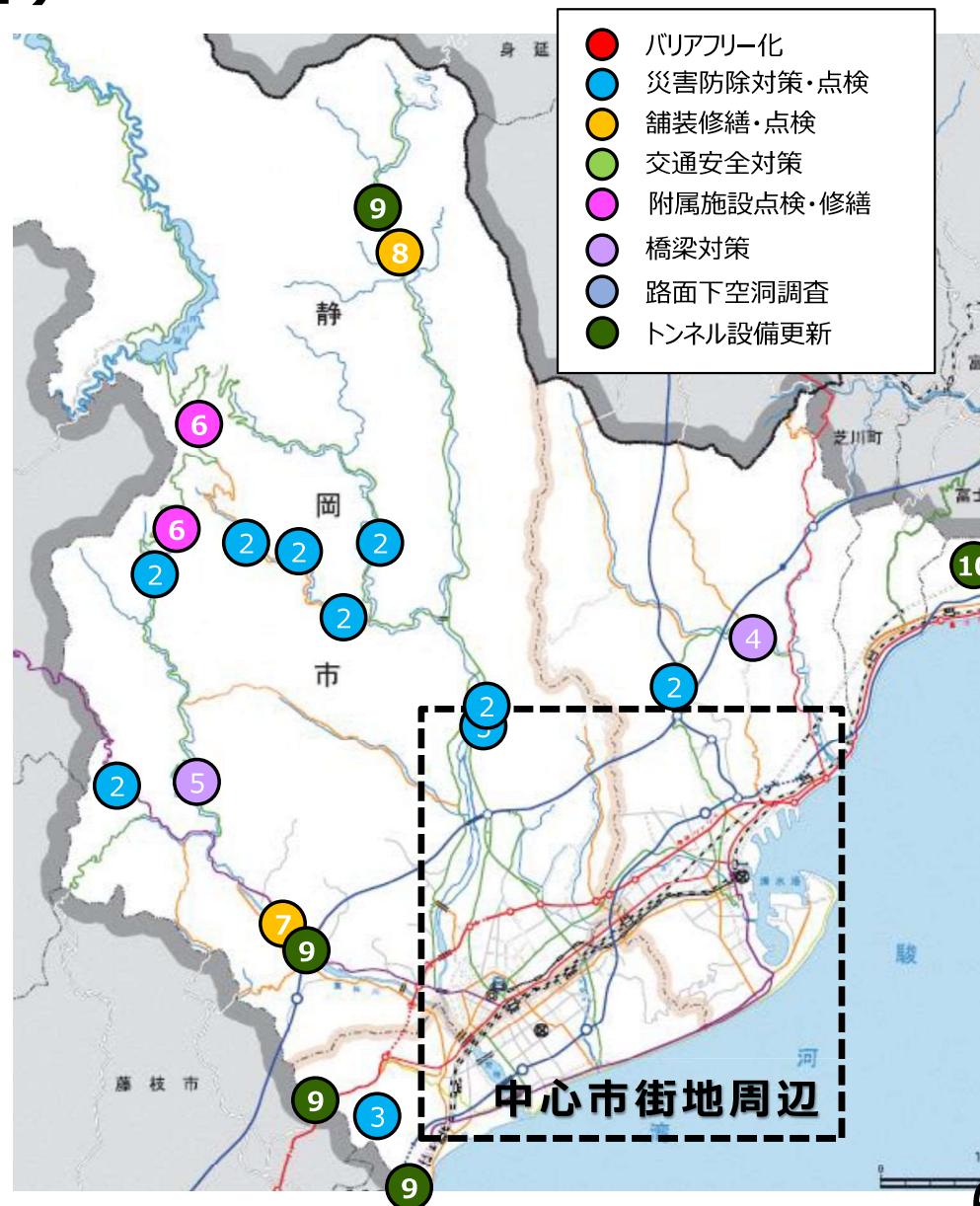
1. 地域活性化に貢献するみちづくり
2. 充実した暮らしを支えるみちづくり
  - ・歩行者・自転車の利用環境向上に向けたみちづくり
  - ・誰もが利用しやすいみちづくり
3. 持続可能な生活基盤を構築するみちづくり
4. 大規模災害に備えるみちづくり
  - ・次の世代へ繋げるみちづくり
  - ・防災・減災に貢献するみちづくり



# 静岡市の暮らしを支える道づくりの概要

## ■事業箇所図（中心市街地周辺外）

|   | 事業名                   | 事業内容    |
|---|-----------------------|---------|
| ① | （国）362号ほか災害防除事業       | 防災対策    |
| ② | （主）井川湖御幸線ほか災害防除事業     | 防災対策    |
| ③ | （市）由比芝川線ほか災害防除事業      | 防災対策    |
| ④ | （主）清水富士宮線橋梁流出防止対策事業   | 橋梁対策    |
| ⑤ | （主）南アルプス公園線橋梁流出防止対策事業 | 橋梁対策    |
| ⑥ | （主）道路情報板更新事業          | 道路情報板更新 |
| ⑦ | （国）150号ほか舗装修繕事業       | 舗装修繕    |
| ⑧ | （主）井川湖御幸線ほか舗装修繕事業     | 舗装修繕    |
| ⑨ | （国）150号ほかトンネル設備更新事業   | 設備更新    |
| ⑩ | （市）高山吉原線ほかトンネル設備更新事業  | 設備更新    |



# 静岡市の暮らしを支える道づくりの概要

## ■ 事業箇所図（中心市街地周辺）

|   | 事業名                         | 事業内容    |
|---|-----------------------------|---------|
| ① | （主）梅ヶ島温泉昭和線 バス停車帯設置事業 安倍口新田 | 交通安全対策  |
| ② | バリアフリー道路特定事業                | バリアフリー化 |
| ③ | 生活道路対策                      | 交通安全対策  |
| ④ | （国）150号ほか舗装修繕事業             | 舗装修繕    |
| ⑤ | （主）井川湖御幸線ほか舗装修繕事業           | 舗装修繕    |
| ⑥ | （市）麻機街道線ほか舗装修繕事業            | 舗装修繕    |
| ⑦ | （国）道路情報板更新事業                | 道路情報板更新 |
| ⑧ | （主）道路情報板更新事業                | 道路情報板更新 |
| ⑨ | （国）150号ほかトンネル設備更新事業         | 設備更新    |
| ⑩ | （市）高山吉原線ほかトンネル設備更新事業        | 設備更新    |



# 静岡市の暮らしを支える道づくりの概要

## ■事業箇所図（静岡市全域）

|   | 事業名                     | 事業内容   |
|---|-------------------------|--------|
| ① | 道路案内標識設置事業              | 交通安全対策 |
| ② | 事故データ整理・事故危険箇所対策        | 交通安全対策 |
| ③ | （県）静岡清水自転車道線自転車走行空間整備事業 | 交通安全対策 |
| ④ | （国）150号ほか路面性状調査         | 舗装点検   |
| ⑤ | （国）道路防災点検・道路土工構造物点検     | 防災点検   |
| ⑥ | （主）道路防災点検・道路土工構造物点検     | 防災点検   |
| ⑦ | （市）道路防災点検・道路土工構造物点検     | 防災点検   |
| ⑧ | （国）道路附属施設点検             | 附属物点検  |
| ⑨ | （主）道路附属施設点検             | 附属物点検  |
| ⑩ | （市）道路附属施設点検             | 附属物点検  |
| ⑪ | 道路情報提供装置整備事業            | 附属施設更新 |
| ⑫ | 未就学児等移動経路の緊急安全対策（国県道）   | 交通安全対策 |
| ⑬ | 未就学児等移動経路の緊急安全対策（市道）    | 交通安全対策 |
| ⑭ | 主要交差点安全対策（国県道）          | 交通安全対策 |
| ⑮ | 主要交差点安全対策（市道）           | 交通安全対策 |
| ⑯ | （国）路面下空洞調査              | 空洞調査   |
| ⑰ | （主）路面下空洞調査              | 空洞調査   |
| ⑱ | （市）路面下空洞調査              | 空洞調査   |



# 静岡市の暮らしを支える道づくりの概要

## 計画の成果目標（定量的指標）

**指標 1. 主要な鉄道駅周辺の主な生活関連経路におけるバリアフリー化率を100%に向上させる。**

算定式：バリアフリー化延長÷主な生活関連経路（10.77KM）×100

【関連事業】：バリアフリー化

**指標 2. 主要幹線道路における舗装の打ち替えが必要となる延長の割合を15%以下に維持する。**

算定式：打ち替えが必要な必要となる延長÷主要幹線道路延長(153KM)  
×100

【関連事業】：舗装修繕事業

**指標 3. 緊急輸送路上における道路防災点検による対策が必要な箇所の対策実施率を100%に向上させる。**

算定式：対策実施箇所数÷要対策箇所数(30箇所)×100

【関連事業】：災害防除事業

# 静岡市の暮らしを支える道づくりの概要

## 計画の成果目標（定量的指標）

**指標 4. 未就学児が集団で移動する経路等における主要交差点の安全対策実施率を100%に向上させる。**

算定式：安全対策実施箇所数 ÷ 要対策箇所数（52箇所） × 100

【関連事業】：歩道整備事業、自転車道整備事業、バリアフリー道路特定事業等

**指標 5. 設備点検等により要補修・更新と診断された設備に対する対策取組率を50%以上とする。**

算定式：対策取組（対策設計、更新工事等）トンネル数  
÷ 設備点検等により要補修・更新と診断されたトンネル数 × 100

【関連事業】：トンネル設備更新

## 評価内容① 要素事業の進捗状況

# ①要素事業の進捗状況

## ■ 基幹事業

| 事業<br>種別 | 主な事業の内訳                                                                                  | 要素<br>事業数 | 評価時計画        |            | 評価時の完成状況       |    |                  |
|----------|------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|--------------|------------|----------------|----|------------------|
|          |                                                                                          |           | 執行額<br>(百万円) | 事業費<br>進捗率 | 完成事業数<br>/全事業数 | 完成 | 次期計画へ移行<br>(継続含) |
|          |                                                                                          |           | 事業費<br>(百万円) |            |                |    |                  |
| 道路       | バリアフリー<br>交通安全対策<br>舗装事業・点検<br>災害防除事業・点検<br>附属施設更新・点検<br>トンネル設備更新<br>路面下空洞調査<br>橋梁流出防止対策 | 33        | 4,109        | 42%        | 20/33          | 20 | 22※              |
|          |                                                                                          |           | 9,818        |            |                |    |                  |

※別事業へ4移行し、計画期間内の事業は完成しているが継続して事業を実施することから次期計画へ22事業移行

## 評価内容② 事業効果の発現状況

## ②事業効果の発現状況

### A-04 バリアフリー道路特定事業（上川原広野線）

- 乗入れ部の段差等が高齢者や障がい者等の円滑な通行を妨げていた。
- バリアフリー化することで、段差等を改善し、安全で快適な歩行空間が確保された。

整備前



整備後



バリアフリー化  
(段差解消、点字ブロック設置)

## ②事業効果の発現状況

### A-024 未就学児等移動経路の緊急安全対策（市道）

- 未就学児等の移動経路上の交差点で歩行者に危険が生じていた。
- 車止め（ボラード）を設置することにより、歩行者の安全性の向上を図った。

八坂町大田切線（八坂北一丁目）

整備前



整備後



車止め（ボラード）設置による  
車両からの侵入防止

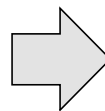
## ②事業効果の発現状況

### A-12 災害防除事業（（一）三ツ峰落合線）

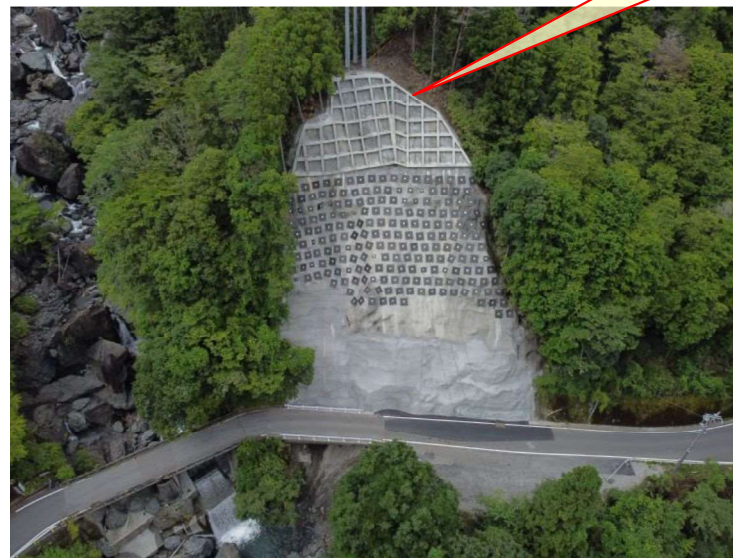
○道路防災点検の結果が要対策判定となった箇所の対策。

○道路沿いの斜面对策により損傷したのり面を復旧し、自然災害のリスクの低減を図った。

整備前



整備後



法面对策

## ②事業効果の発現状況

### A-6 舗装事業（（国）150号）

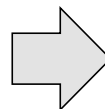
○維持管理の計画に基づき調査を行い、補修を実施。

○舗装のわだちぼれ補修、ひび割れ補修を行い、通行の安全性向上を図った。

整備前



整備後



## ②事業効果の発現状況

### A-027 トンネル設備更新事業（（国）150号）

○維持管理の計画に基づき監視設備の更新を実施。

○トンネル内の設備更新を実施し、通行の安全向上を図った。

整備前



整備後



カメラ更新

## **評価内容③ 評価指標の目標値の実現状況**

### ③評価指標の目標値の実現状況

#### 指標 1：主要な鉄道駅周辺の主な生活関連経路におけるバリアフリー化率

| 定量的指標の目標値と実績値   |         |         |                     |
|-----------------|---------|---------|---------------------|
| 定量的指標           | 当初現況値   | 最終目標値   | 最終実績値               |
|                 | (平成31年) | (令和4年末) | (令和4年末)             |
| 指標1<br>バリアフリー化率 | 6.68km  | 10.43km | 10.43km<br>/10.77km |
|                 | 62%     | 100%    | 96.8%<br>【未達成】      |
|                 | —       | 249百万円  | 396百万円<br>(63%)     |

令和4年度のバリアフリー化率  $10.43\text{km}/10.77\text{km} = 96.8\%$  【未達成】  
( $96.8\%/100\% = 96.8\%$ )

○計画的にバリアフリー化事業を推進したが、無電柱化事業と同時を予定している箇所において、無電柱化事業の進捗が遅れているため、未達成となった。

### ③評価指標の目標値の実現状況

#### 指標2：主要幹線道路における要修繕割合

主要幹線道路における舗装の打ち替えが必要となる延長の割合を15%以下に維持する。

算定式：打替えが必要な必要となる延長÷主要幹線道路延長(153km)×100

| 定量的指標の目標値と実績値 |               |                     |                   |
|---------------|---------------|---------------------|-------------------|
| 定量的指標         | 当初現況値         | 最終目標値               | 最終実績値             |
|               | (平成31年)       | (令和4年末)             | (令和4年末)           |
| 指標2<br>要修繕割合  | 21.42km/153km | 22.95km以下<br>/153km | 14.99km/153km     |
|               | 15%以下         | 15%以下               | 9.8%<br>【達成】      |
|               | —             | 3,612百万円            | 2,322百万円<br>(64%) |

#### 要修繕箇所割合

153kmの内、修繕が必要な箇所の残延長14.99km  $14.99/153 = 9.8\%$ 【達成】

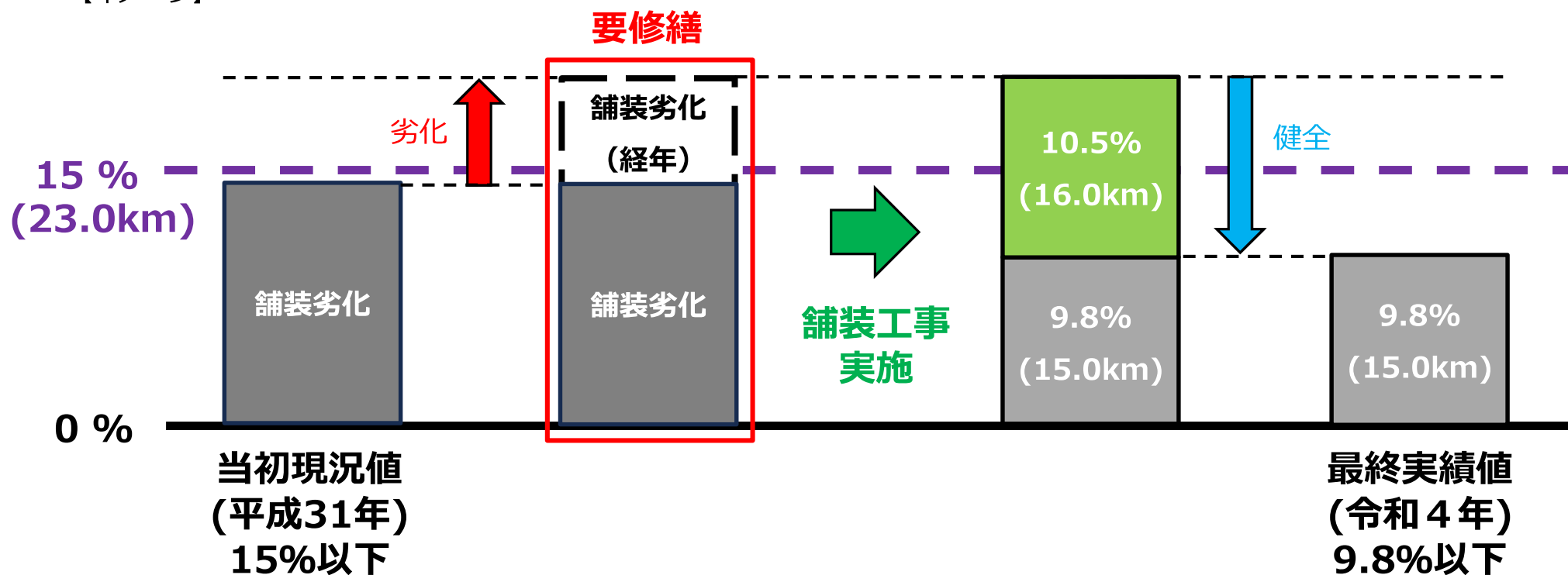
○ 計画的に舗装修繕を行ったことにより、要修繕箇所の割合を目標値内に維持することができた

### ③評価指標の目標値の実現状況

#### 指標2：主要幹線道路における要修繕割合

当初、平成31年時点の舗装劣化及び経年使用に伴う劣化を考慮した要修繕に対し、舗装工事の実施により、舗装路面の状態を計測した結果、主要幹線道路における舗装の要修繕割合の目標値に対し、要修繕割合の計測値が9.8%であったため、指標の目標値15%以下を達成している。

【イメージ】



### ③評価指標の目標値の実現状況

#### 指標3：道路防災点検による要対策箇所（緊急・早期）の対策実施率

緊急輸送路上における道路防災点検による対策が必要な箇所の対策実施率を100%に向上させる。

算定式：対策実施箇所数÷要対策箇所数(30箇所)×100

| 定量的指標の目標値と実績値          |           |           |                 |
|------------------------|-----------|-----------|-----------------|
| 定量的指標                  | 当初現況値     | 最終目標値     | 最終実績値           |
|                        | (平成31年)   | (令和4年末)   | (令和4年末)         |
| 指標3<br>要対策箇所の<br>対策実施率 | 16箇所/30箇所 | 30箇所/30箇所 | 30箇所/30箇所       |
|                        | 53%       | 100%      | 100%<br>【達成】    |
|                        | —         | 3,515百万円  | 972百万円<br>(28%) |

#### 要対策箇所の対策実施率

(当初計画) 30箇所の内、30箇所が対策完了  $30/30 = 100\%$ 【達成】

○ 計画的に整備を進めたことにより目標を達成

### ③評価指標の目標値の実現状況

#### 指標4：未就学児が集団で移動する経路等における主要交差点の安全対策実施率

| 定量的指標の目標値と実績値  |         |         |                  |
|----------------|---------|---------|------------------|
| 定量的指標          | 当初現況値   | 最終目標値   | 最終実績値            |
|                | (平成31年) | (令和4年末) | (令和4年末)          |
| 指標4<br>安全対策実施率 | 0箇所     | 52箇所    | 52箇所/52箇所        |
|                | 0%      | 100%    | 100%<br>【達成】     |
|                | —       | 116百万円  | 595百万円<br>(19%※) |

#### 主要交差点の安全対策実施率

(当初計画) 52箇所の内、52箇所が対策完了  $52/52=100\%$ 【達成】

○ 計画的に整備を進めたことにより目標を達成

※事業費の執行率は低いのは、対策内容の見直しを実施したほか、継続事業があるため

### ③評価指標の目標値の実現状況

#### 指標5：設備点検等により要補修・更新と診断された設備に対する対策取組率

| 定量的指標の目標値と実績値 |          |           |                 |
|---------------|----------|-----------|-----------------|
| 定量的指標         | 当初現況値    | 最終目標値     | 最終実績値           |
|               | (平成31年)  | (令和4年末)   | (令和4年末)         |
| 指標5<br>対策取組率  | 8箇所/32箇所 | 16箇所/32箇所 | 20箇所/32箇所       |
|               | 0%       | 50%       | 62.5%<br>【達成】   |
|               | —        | 1,000百万円  | 290百万円<br>(29%) |

#### トンネル設備対策取組率

(当初計画) 対策取組トンネル数の取組率  $16/32 = 50.0\%$ 【達成】

( $20/32 = 62.5\%$ )

○ 計画的に整備を進めたことにより目標を達成

## 評価内容④ 今後の方針

## ④今後の方針

### ○事後評価の総括

指標 2、3、4、5 は達成、指標 1 は未達成

| 定量的指標の目標値と実績値       |         |           |                |
|---------------------|---------|-----------|----------------|
| 定量的指標               | 当初現況値   | 最終目標値     | 最終実績値          |
|                     | (平成30年) | (令和 4 年末) | (令和 4 年末)      |
| 指標 1<br>バリアフリー化率    | 62%     | 100%      | 96.8%<br>【未達成】 |
| 指標 2<br>要修繕割合       | 15%以下   | 15%以下     | 9.8%<br>【達成】   |
| 指標 3<br>要対策箇所の対策実施率 | 53%     | 100%      | 100%<br>【達成】   |
| 指標 4<br>安全対策実施率     | 0 %     | 100%      | 100%<br>【達成】   |
| 指標 5<br>対策取組率       | 0 %     | 50%       | 62.5%<br>【達成】  |

計画期間内に事業が完了していないものについて、次期計画（～令和 8 年度）によって継続して事業を推進し、当計画で達成しなかった成果も含め、目標値の達成を実現していく

# ①要素事業の進捗状況

参考資料

## ■ 基幹事業

| 事業<br>種別 | 主な事業の内訳   | 要素<br>事業数 | 評価時計画        |            | 評価時の完成状況       |    |                  |
|----------|-----------|-----------|--------------|------------|----------------|----|------------------|
|          |           |           | 執行額<br>(百万円) | 事業費<br>進捗率 | 完成事業数<br>/全事業数 | 完成 | 次期計画へ移行<br>(継続含) |
|          |           |           | 事業費<br>(百万円) |            |                |    |                  |
| 道路       | バリアフリー    | 1         | 249          | 63%        | 0/ 1           | 0  | 1                |
|          |           |           | 396          |            |                |    |                  |
|          | 交通安全対策    | 9         | 116          | 19%        | 7/9            | 7  | 2                |
|          |           |           | 595          |            |                |    |                  |
|          | 舗装事業・点検   | 4         | 2,322        | 64%        | 1/ 4           | 1  | 4                |
|          |           |           | 3,612        |            |                |    |                  |
|          | 災害防除事業・点検 | 6         | 972          | 28%        | 6/6            | 6  | 6                |
|          |           |           | 3,515        |            |                |    |                  |
|          | 附属施設更新・点検 | 6         | 131          | 20%        | 3 / 6          | 3  | 5<br>(別事業へ1 移行)  |
|          |           |           | 670          |            |                |    |                  |
|          | トンネル設備更新  | 2         | 290          | 29%        | 0/2            | 0  | 1<br>(別事業へ1 移行)  |
|          |           |           | 1,000        |            |                |    |                  |
|          | 路面下空洞調査   | 3         | 9            | 90%        | 3 / 3          | 3  | 3                |
|          |           |           | 10           |            |                |    |                  |
|          | 橋梁流出      | 2         | 20           | 100%       | 0/2            | 0  | 0<br>(別事業へ2 移行)  |
|          |           |           | 20           |            |                |    |                  |
| 計        | 33        | 4,109     | 42%          | 20/33      | 20             | 22 |                  |
|          |           | 9,818     |              |            |                |    |                  |